

開成中学入試問題分析 平成29(2017)年度

一

問一 2行目線「缶蹴りに加わるのに金が必要」とはどういうことか、わかりやすく説明しなさい。「レベル3」

○ 2行目線「缶蹴りに加わるのに金が必要時代になったのだ、と諦めている。」

↓「缶蹴り」：「空き缶を使ったかくれんぼ」

↓20行目「体面など繕わなくても、と思うだけは思うのだが、子供達をスイミングスクールに通わせたり、少年サッカーチームに入れたりする支出は削りたくない。」

↓「体面」：「人が世間に対してもっている誇りや世間からうける評価」

↓かつては子供同士が自然に「缶蹴り」などを通じてつながれていたが、現代ではそのような機会や場所もないため「子供達をスイミングスクールに通わせたり、少年サッカーチームに入れたりする」必要が生じた

↓子供同士がつながるために、習い事に通わせなくてはならなかったということ。

〔解答例〕 子供同士がつながるために、習い事に通わせなくてはならなかったということ。

〔部分点〕 子供同士がつながるために：6点 習い事に通わせなくてはならなかったということ：4点

〔小学生解答A〕 昔は、サッカーをしたりするのに金が必要なかったが今は、サッカーをすることだけでお金が必要、大変だということ。

〔小学生解答B〕 スイミングスクールやサッカーチームに入れてもらうだけでもお金が必要になってしまったこと。

〔採点〕 10点中0点

〔寸評〕 スイミングスクールに入れてもらうには昔からお金は必要だったと思われる。「缶蹴り」と「スイミングスクール」や「少年サッカーチーム」は子供同士がつながる場として共に機能していることを押さえておくはならない。

〔小学生解答C〕 昔は普通にできたことが、今ではそのようなことをするにも金が必要ということ。

〔採点〕 10点中0点

〔寸評〕 「普通にできたこと」というのが何なのかがこの解答では理解できない。